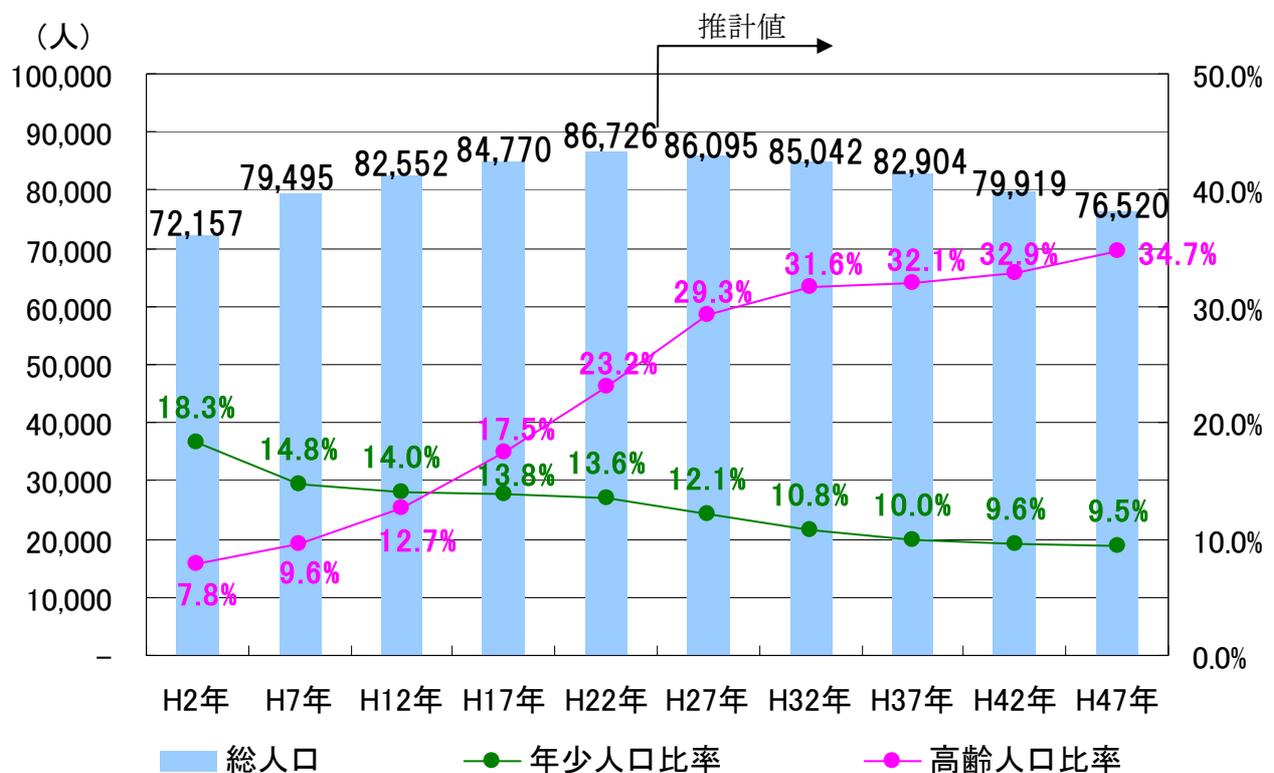


2.四街道市の現状

2-1.人口動態

- ・四街道市全体人口は、平成2年以降も増加傾向にあり、平成22年には平成2年の約1.2倍の86,726人となっている。
- ・人口は増加しているものの、人口構成を見ると、平成12年を境に年少人口（～15歳未満）と高齢人口（65歳以上）の比率が逆転し、本格的な少子・高齢化時代に移り変わっており、H22時点で高齢化率が約23%となっている。
- ・四街道市の将来人口推計についてみると、平成27年以降減少すると推計されており、平成42年には8万人を下回る予測となっている。また、高齢化も急速に進展するものと推計されており、平成47年には人口の3人に1人が65歳以上の高齢者となるものと予測され、高齢者対策も必要となるものと予測される。



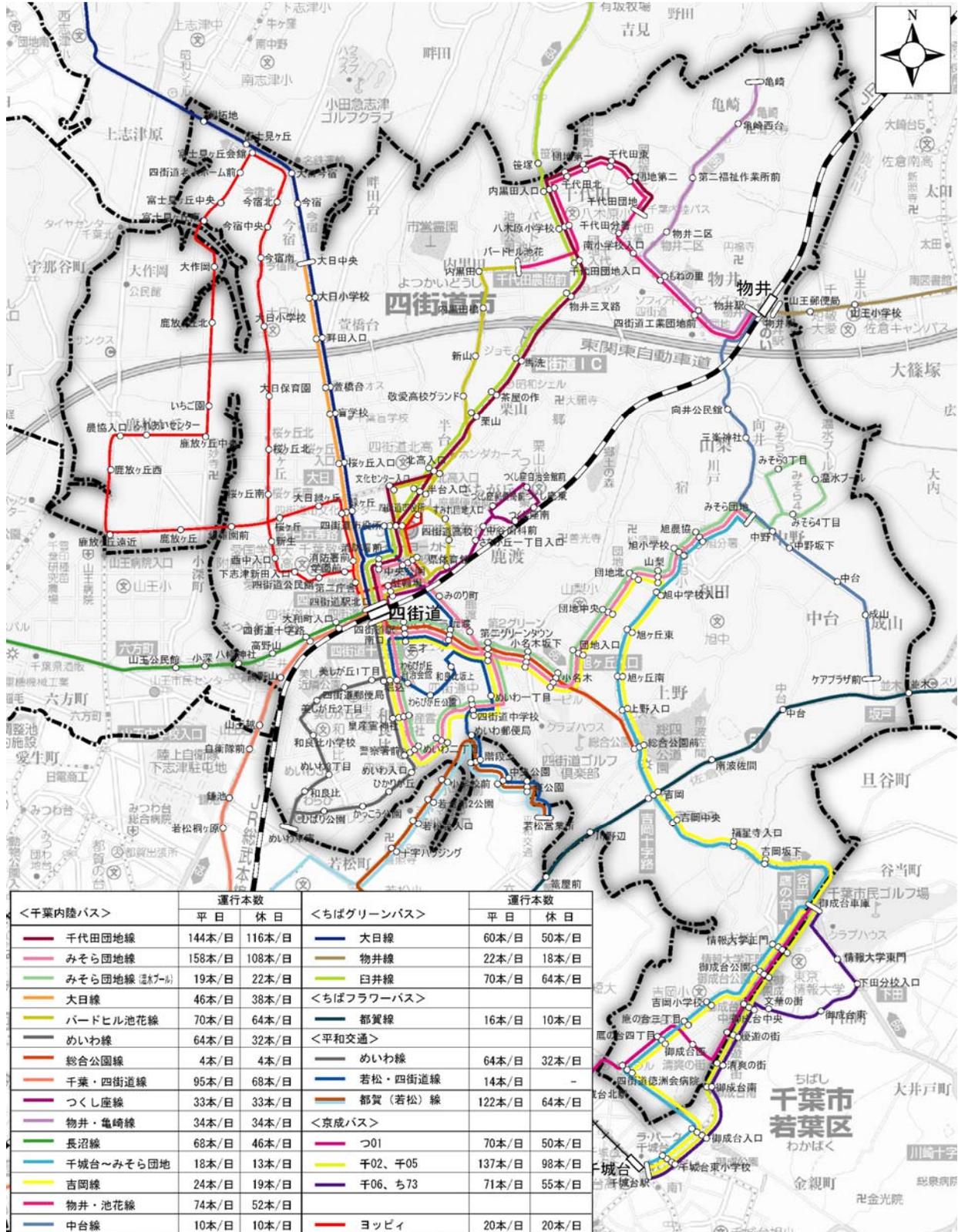
※平成22年までの人口推移については、国勢調査結果を掲載している。

※平成27年以降の推計値は、国立社会保障人口問題研究所が平成17年の国勢調査結果を用いて予測した数値を掲載している。

2-2.交通に関する現状

(1) 公共交通ネットワークの現状

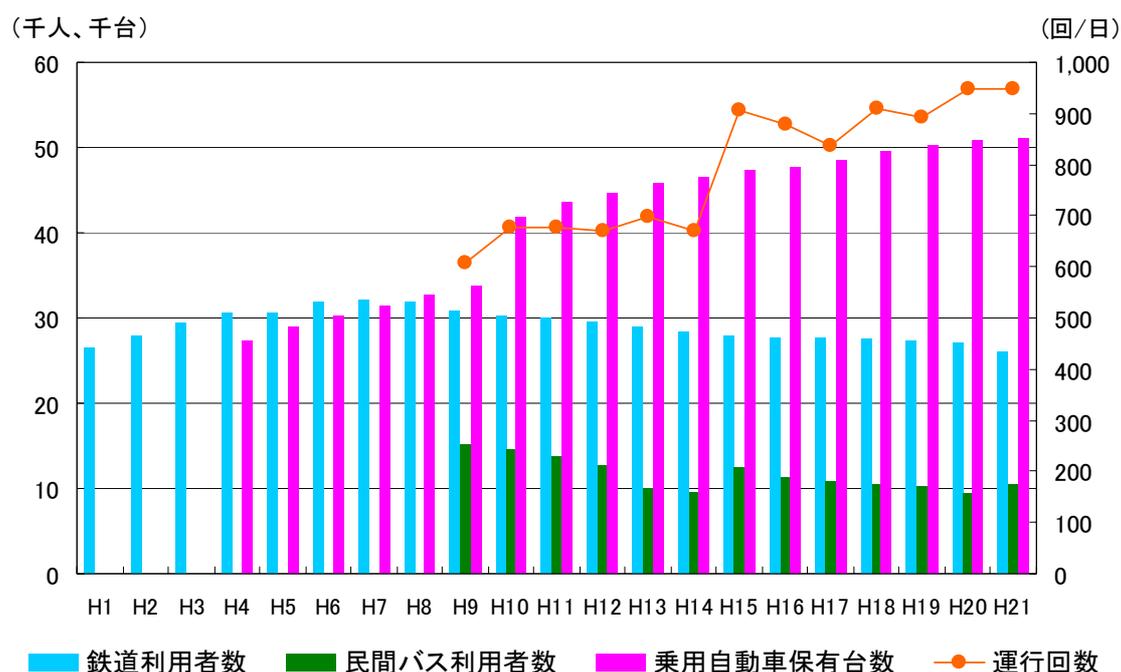
市内の公共交通ネットワークは鉄道が南西部から北東部を通り、成田方面や東京方面など広域的なネットワークを形成している。また、鉄道でカバーしきれていない地域をバスがカバーしており、四街道駅、物井駅を中心とした放射状のネットワークを形成し、人口が集中している千代田地区、みそら地区、旭ヶ丘地区などにおいては、運行本数が1日100本以上とサービスレベルが高く、市全体として、バス交通が充実している。



「四街道市バス路線図」(平成23年10月1日現在)

(2) 公共交通利用者数と自動車保有台数の推移

- ・鉄道利用者数は、平成7年度の約32,000人/日をピークに減少傾向に転じており、平成21年度で約26,000人/日まで減少している。また、路線バスについては、運行回数を増加しているにもかかわらず、利用者は平成10年度の約15,000人/日をピークに減少傾向にあり、平成21年度で約10,000人/日まで減少している。
- ・その一方で、自動車保有台数は増加の一途をたどっており、平成4年度では約27,000台であったものが、平成21年度には約51,000台まで増加している。
- ・その結果、自動車の普及により、公共交通のサービスをいくら向上させても、自動車の利用しやすさが習慣化していることにより、公共交通利用者が減少するといった悪循環に陥っていると考えられる。

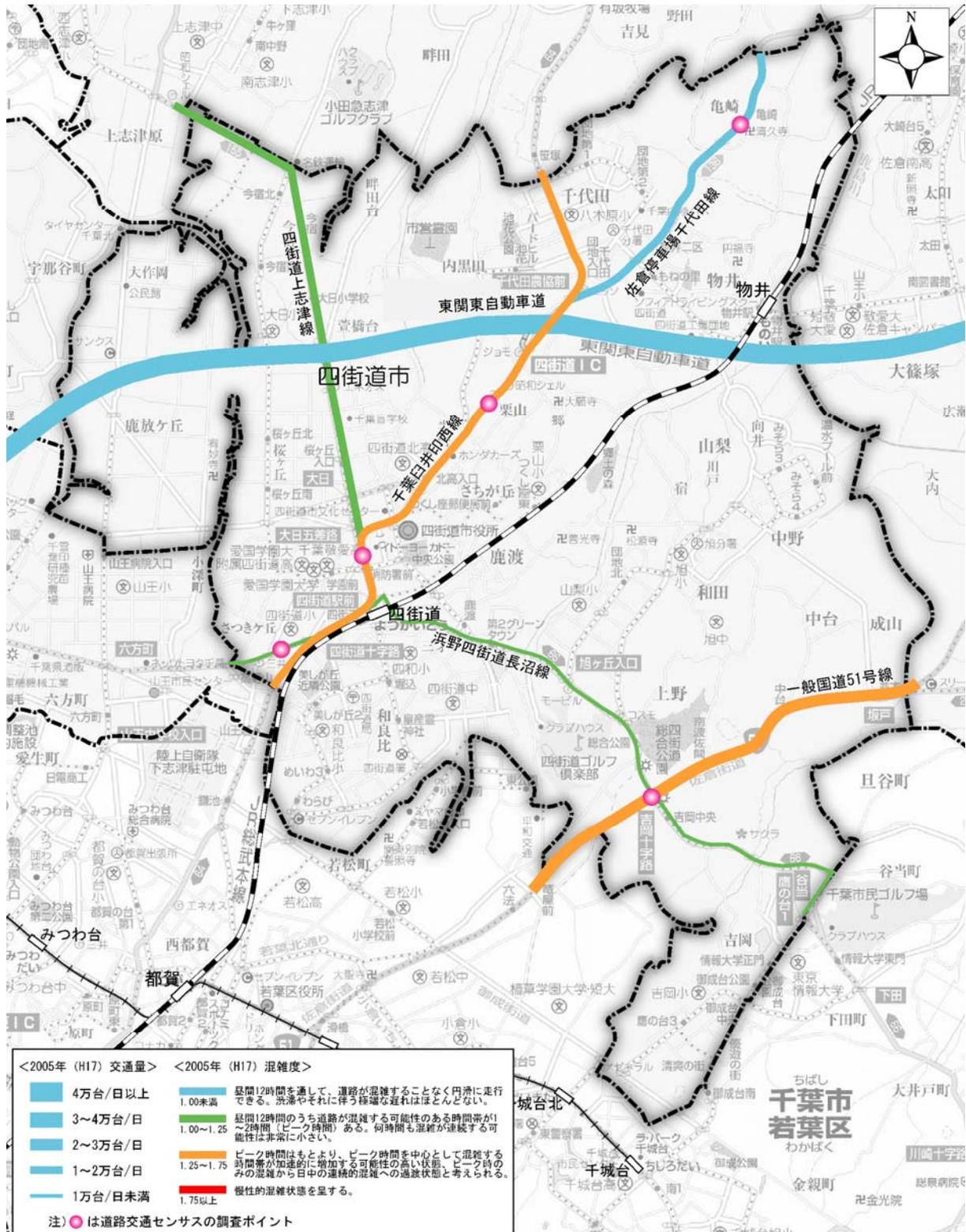


	鉄道利用者数 (千人)	民間バス 利用者数(千人)	運行回数	乗用自動車 保有台数(千台)
H1	26			
H2	28			
H3	29			
H4	31			27
H5	31			29
H6	32			30
H7	32			31
H8	32			33
H9	31	15	606	34
H10	30	15	677	42
H11	30	14	678	44
H12	30	13	672	45
H13	29	10	700	46
H14	28	10	670	46
H15	28	12	906	47
H16	28	11	878	48
H17	28	11	838	48
H18	28	10	909	49
H19	27	10	891	50
H20	27	9	948	51
H21	26	10	948	51

出典：四街道市統計書

(3) 自動車交通量、混雑度

- ・市内の主要道路における自動車交通量をみると、千葉臼井印西線、四街道上志津線、国道51号、佐倉停車場千代田線は、1日2~3万台となっている。
- ・路線バスが多く集中している千葉臼井印西線や国道51号においては、朝・夕といったピーク時間帯には、渋滞が引き起こされている可能性があり、バスの定時性に影響を与えている可能性がある。
- ・市内の公共交通は、鉄道が南西部から北東部をとおり、広域ネットワークを形成している。鉄道でカバーできない地域をバスがカバーしており、四街道駅と物井駅を基点に放射状にネットワークが形成され、サービスも充実している。



出典：H17年道路交通センサス

2-3.四街道市の現状まとめ

- ・全人口は、20年前に比べて約1.2倍の86,726人となっている。
- ・人口構成は平成12年を境に、年少人口と高齢者人口の比率が逆転し、少子高齢化時代に突入しており、平成22年時点における高齢化率は約23%となっている。
- ・公共交通利用者は減少傾向、その一方で自動車保有台数は増加傾向にあることから、自動車依存による公共交通利用者減少といった悪循環に陥っている。
- ・市内の主要道路における自動車交通量は2~3万台/日に上り、渋滞が引き起こされている可能性があるため、路線バスの運行に影響を及ぼしている可能性がある。